お知らせ：遠隔心臓リハビリテーションのオンライン診療に関する研修会開催について

2026 年 11 月 25 日
特定非営利活動法人　日本心臓リハビリテーション学会

当学会では、「心血管疾患における遠隔リハビリテーションに関するステートメント」を公表いたしました。会員の皆様に遠隔心臓リハビリテーション（遠隔心リハ）を正しく理解して、運用していただくために、2024 年 2 月に会員の皆様方対象に初回の研修会を実施いたしました。この度、第 4 回を 2027 年 1 月 17 日に開催いたします。

背景：新型コロナウィルス感染拡大に伴い、外来で行う後期回復期心臓リハビリテーション実施施設が著しく減少して、それが現在に至っても回復していない。このような現状において、遠隔医療を利用して心臓リハビリテーション（遠隔心リハ）を試みる施設報告や研究が多くの学会で散見されるようになってきた。しかし、臨床場面において遠隔心リハの理解や実施・運営についてはまちまちであることから、当学会として遠隔心リハを正しく理解し運用していくことが必要と考え、ステートメントを公表した。2027 年もこのステートメントを補完する目的で本研修会を実施することにした。本研修会は遠隔心リハを実施する上での注意点や指導方法をコンパクトにまとめて講義をするため、今後の遠隔心リハの普及に資するものと期待する。

目的：遠隔心リハを実施するにあたって、医療関係者が必要最低限知っておかねばならない知識や注意点について理解を深める。

対象：心大血管疾患リハビリテーション料 I を算定しており、急性期病院退院後遠隔心リハを実施する対象となる心疾患患者のいる施設であり、当該施設での遠隔心リハ実施が可能であること。医師に関しては、日本心臓リハビリテーション学会認定の心臓リハビリテーション指導士（心リハ指導士）資格を有しており、厚生労働省が指定しているオンライン診療に関する研修（下記）をすでに受けていること。また、スタッフに関しては、心リハ指導士資格を有しており、心大血管リハビリテーション料算定ができる専従もしくは専任の理学療法士、看護師もしくは作業療法士であること。当該施設で遠隔心リハに携わる予定のスタッフは全員本研修会に参加することが望ましい。

日時：2027 年 1 月 17 日（日）　13：00～16：10（約 3 時間）

主催：日本心臓リハビリテーション学会、応募については HP や会員メールで周知する。

応募：募集人員 300 名（12 月 25 日まで、ただし定員に達したら締め切りいたします）
応募後に事務局より振込口座情報をメールでお送りいたします。参加費を振込み、顔写真の提出をもって受け付ける。

講習形式：リアルタイムでのオンライン形式
参加費：1 名 10,000 円（不課税）
資料：受講者にはあらかじめ資料を配布する。
プログラム

1）はじめに（10 分）	福本義弘（理事長）
2）オンライン診療に関する基本的理解（30 分）	長谷川高志（遠隔医療協会）
3）ステートメントの解説(20 分)	明石嘉浩(聖マリアンナ医大)
4）運動処方や運動療法について(30 分)	貝原俊樹(聖マリアンナ医大)
5）オンライン診療における特別な配慮や注意点（30 分）	木村穣（関西医科大学）
6）患者教育（20 分）	横山美帆（順天堂大学）
7）安全確保と緊急時の対応（30 分）	網谷英介（東京大学）
8）質疑応答（20 分）	

質疑応答回答者：上記講師に加えて、伊東春樹先生、三浦伸一郎先生

修了証：出席状況と確実に視聴していたことを確認（顔写真と照合）ののち修了証（有効期間 3 年間）を発行する。医師に関しては、下記の厚労省のオンライン診療に関する研修を事前に受けて、その受講証を今回の研修会開始までに必ず事務局に送付（メールまたは郵送：コピー可）すること。
フォロー：定期的に心リハ学会が各施設の遠隔心リハ実施状況（アンケート）を確認する。

◎厚生労働省：オンライン診療研修実施概要　https://telemed-training.jp/entry　から申し込む（無料）
参考：オンライン診療の適切な実施に関する指針 平成 30 年 3 月（令和 4 年 1 月一部改訂）
https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/000901835.pdf

問い合わせ
日本心臓リハビリテーション学会事務局
〒151-0056
東京都渋谷区代々木 2-23-1-260
ニューステートメナー260 号
電話 03-6300-7977
メール: jacr-info@jacr.jp